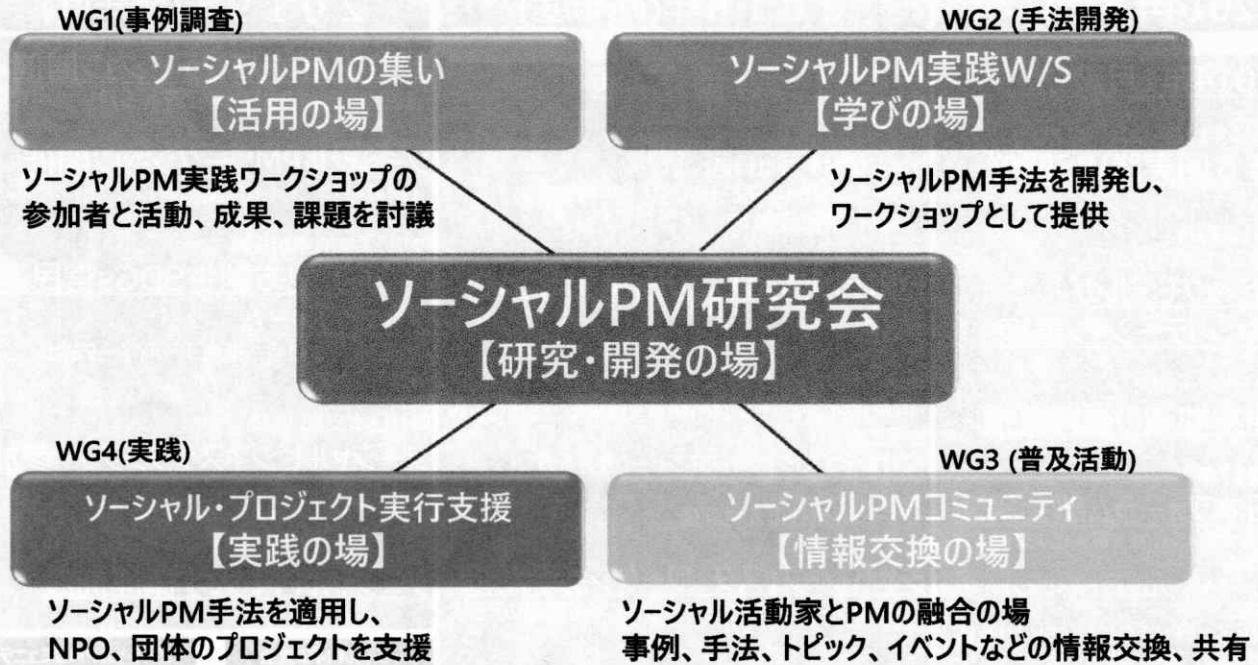


# ソーシャルPM研究会のご案内



## (1) ソーシャルPM研究会の活動イメージ



©2019 PMI Japan Chapter. All rights reserved.

1

# ソーシャルPM研究会のご案内



## (2) ソーシャルPM手法と実践ワークショップ

ソーシャル・プロジェクトの課題	解決策	提供するワークショップ	日時
ニーズ把握とゴール設定が困難	デザイン思考	ソーシャルデザイン思考 アジャイル/ リーンスタートアップ	2019/2/23(土) 9:30-17:30
思い通りに進まない	アジャイルマネジメント		
ステークホルダーが様々である	ステークホルダーマネジメント	ステークホルダーマネジメント	2019/4/20(土) 9:30-17:30
プロジェクトの成果が見えにくい	ベネフィットマネジメント	CSV (共有価値の創造)	2019/6/8(土) 9:30-17:30
優先順位がつけられない	ポートフォリオマネジメント		
持続可能性に問題がある	ビジネスモデルデザイン		

SDGs達成につながる  
 ソーシャルプロジェクトに適したプロジェクトマネジメント手法を提供  
 (今年度3回実施済)

©2019 PMI Japan Chapter. All rights reserved.

2

# ソーシャルPM研究会のご案内

## (3) ソーシャルPM研究会の活動実績

2014年～2017年	2018年(昨年度)	2019年(今年度)
<p>2014年1月設立</p> <p>2015年12月～2017年12月 年6回実践WS開催</p> <p>2017年9月 PMI日本支部LM2017 ロジックモデルの ファシリテーション実施</p> <p>2017年2～12月 熊本地震の復興支援 (協賛) EDW</p> <p>2017年 日本フォーラム部会講演 ①社会的インパクトを最大化するPM手法の探求 ②ソーシャル・プロジェクトマネジメント手法の実践 ③ソーシャルPM手法によるCSV(共有価値の創造)実現への取り組み</p>	<p>5年</p> <p>日本フォーラム 部会講演 ①パラレルキャリア、セカンドキャリアとしてのソーシャルPM実践事例 ②キッズPMクラブは何処へ行く ③ソーシャルPM手法によるCSV(共有価値の創造)実現に向けて</p> <p>PMI日本支部 20周年記念出版 執筆 タレント・トライアングル 戦略的ビジネスのマネジメント ・情報化社会でプロジェクト目標を達成し、価値を生み出すために ・これからのプロジェクト・マネジャーの生きる道 リーダーシップ ・アジャイル時代の人材評価</p> <p>ジャパン・フェスタ ワークショップ開催 ・企業のソーシャル・スタートアップから学ぶ組織のアシリティ</p> <p>部会主催オリエンテーション開催 第1回 部会メンバー向け 第2回 PMI日本支部 会員・法人会員向け</p>	<p>部会主催オリエンテーション開催 1回目 会員非限定開催済(1月)</p> <p>ソーシャルPMワークショップ開催 (前頁参照 2,4,6月実施済)</p> <p>PMI日本支部 参加登録</p> <p>内閣府 地方創生SDGs官民連携 プラットフォーム ・組織拡大委員会へ推進コーディネータ輩出 ・分科会参加</p> <p>PMI日本支部 協賛 ソーシャルビジネスグランプリ 参加</p> <p>日本フォーラム 部会講演</p> <p>ソーシャルPM 大学講座開設</p>
		<p>PMI日本支部 協賛 ソーシャルPM研究会</p> <p>PMI日本支部 協賛 ソーシャルPMコミュニティ</p>

# ソーシャルPM研究会のご案内

## (4) ソーシャルPM研究会に関心を持たれた方へ

**1項目でも該当する方は是非ご参加ください**

- プロジェクトマネジメントの手法を活かして、社会活動を解決していきたい
- 社会活動に関わる、プロジェクトマネジメントの手法を開発、普及させたい
- 社会活動に、どのようにプロジェクトマネジメントを適用させると効果的であるか、ディスカッションしたい
- 社会活動の事例を知りたい、研究会のメンバーと共有したい
- PMI日本支部のメンバーとして、研究会の活動に参加してみたい

**ご参加いただくことで得られるメリット**

- ソーシャルPM手法の共同開発を経験することにより、スキルが向上する
- ソーシャル・プロジェクトマネジメントに関わる意見交換、情報連携ができる
- PMI日本支部ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会の研究事例、活動情報をいち早く知ることができる
- 他団体、NPOなどの社会活動の最新事例を知ることができる

一般社団法人PMI日本支部 主催  
PMI日本フォーラム2019のご案内

今年も7月20日、21日の両日にわたり「PMI日本フォーラム2019」を開催する運びとなりました。これもひとえに会員各位、法人スポンサー、アカデミックスポンサーならびにフォーラム・スポンサーの皆さま、日ごろPMI日本支部の活動にご賛同いただいている関係諸機関の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

また、昨年のPMI日本支部の20周年に引き続き、今年はPMI本部創立50周年の記念すべき年になります。この50周年に当たってPMI本部では様々なサービスを提供する予定になっており、会員の皆様も是非ご活用願いたいと思います。

さて、2019年は翌年に東京オリンピックを控え、世界での日本選手の活躍も数多く報道され、オリンピック開催への気運が高まってきているように思います。一方、国際環境は厳しい緊張状態を継続しており、また経済の世界でもポピュリズムと自国優先主義が広まり、自由貿易に象徴される共栄の理念が危機に瀕しています。そのため経済的にも多くの不確定要因を抱えています。

経済活動を支える技術革新では、IoT、ビッグデータ、AIなど従来のビジネスモデルを根底から覆すDisruptive Technologyが猛スピードで発展しています。そのため、この人類の歴史の転換点になる大きな潮流に、いかに適応し主導権を握るかについて様々な取り組みや試行錯誤が繰り返されています。

このような流れの中で、PMI本部自身もこの潮流の主導権を握るべく、PMI2.0へのTransformation Journeyを策定し、その途上にあります。その中では、PMIのブランドそのものを根本から見直そうとする作業もあり、あるべき姿、提供すべきサービス、そして「誰に」という根本的な問いに、真剣に答えようとして様々な情報の提供、方針の展開などが行われています。日本支部も今年も2017年に開始した中期計画の最終年にあたり、次の中期計画を策定する年に当たっています。その中で、PMI本部が提供する最新の情報や資産を、会員の皆さまにより早くより広く共有していただくため、タイムリーな翻訳、出版、WEBへの掲載、セミナーの開催を行っています。

今年の日本フォーラムのテーマは昨年を引継ぎ「新しい潮流へのチャレンジー変革をリードするー」です。今まさに私たちがその渦中にある新たな潮流に対し、様々な変革を実現して潮流の先を走れるよう、手法やノウハウを提供する使命をPMI日本支部は負っていると思っております。今年もこのテーマについて数々の示唆をいただける方々を講師として招請致しました。どうぞご期待ください。

最後に、PMI日本支部を含むPMIの活動は全てがボランティアに支えられております。会員ならびに関係各位の一方ならぬ献身に対し重ねて心より感謝いたします。PMI日本支部の活動にご理解と引き続きご支援を賜るようお願い申し上げます。

参加費 (税込)

参加要項		参加費			
		PMI日本支部 会員	法人 スポンサー	一般	
セッション	早割り料金	1日参加	17,000円	19,000円	29,000円
		両日参加	24,000円	28,000円	46,000円
	通常料金	1日参加	18,000円	20,000円	30,000円
		両日参加	26,000円	30,000円	48,000円
初日交流会		3,000円	3,000円	3,000円	

申込みに関するお問合せはPMI日本フォーラム受付窓口へ

問合せ先: [forum-2019@pmi-japan.org](mailto:forum-2019@pmi-japan.org)

フォーラム受講申し込みはPMI日本フォーラム2019公式サイトから

(日本語) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/index.html>

(英語) <https://www.pmi-japanforum.org/pmij2/forum-2019/e/index.html>



“新しい潮流への  
チャレンジ”  
ー変革をリードするー

開催日 2019年7月20日(土)~21日(日)

受付開始 9:30 ~ (20, 21日)

講演 10:00 ~ 18:15 (20日)

10:00 ~ 18:00 (21日)

交流会 18:30 ~ 20:30 (20日のみ)

※交流会は、PMという同じテーマを抱えた者同士が語り合うことでさまざまなヒントを得ることを目的としています。初めての方も、ぜひご参加ください。

- 講演会場 学術総合センター
- 交流会会場 如水会館 (学術総合センター隣接)
- 同時中継 基調・招待講演の全セッションを全国に同時中継



学術総合センター 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 03-4212-6321  
東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A6, 8, 9出口  
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口

- 支部会員の方はお得な支部会員料金でご参加いただけます。この機会に支部への入会をご検討ください。
- 早期申し込み割引制度  
2019年6月21日(金)までに参加費お支払い完了の場合に、割引の料金で参加できます。
- 参加費お支払い後のキャンセルはお受けできません。確実に参加いただけることを確認の上お申し込みください。
- お申し込みより10営業日までにお支払い未済の場合、断りなくお申し込みを取り消させていただく場合があります。
- PDU取得(受講証明)は、タレント・トライアングルの各領域でPDUが取得できます。公式サイト「参加要項」をご参照ください。
- 同時中継での参加も会場に参加された場合と同じPDU受講証明書を発行します。
- ご注意  
①申し込みは1日単位です。半日単位や1講座のみの申込みはできません。  
②1日目: 13時30分~18時15分、2日目: 10時00分~18時00分は複数トラック方式のプログラムです。  
受講申込みの際、参加を希望する講演を各時間ごとに選択してください。

プログラム構成  
7月20日(土)

PMI日本フォーラム 2019

トラック	【メイントラック】			【併設トラック】			
	招待	PFM/PGM/事例・手法	PM一般/事例・手法	ソーシャル	PMBOK®/PM一般	アカデミック	人材育成/PM一般
9:30 ~	受付開始 (9:30 ~)						
10:00 ~ 10:10	奥澤 篤 PMI日本支部 会長						
10:10 ~ 11:10 (60min)	Sunil Prashara President & Chief Executive Officer, PMI Tejas Sura PMI Board of Directors 「The Value of Project Management」 - PMI's 2019 Pulse of the Profession®	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)		
11:10 ~ 11:20	休 憩 (10分)						
11:20 ~ 12:20 (60min)	佐藤達夫 広島修道大学 教授 「近代マネジメントの歴史におけるプロジェクトマネジメントの過去から現在、そして未来」	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)	M-1, M-2の中継 (日本語のみ)		
12:20 ~ 13:30	昼 休 み (70分)			ランチ セッションA(40分)		ランチ セッションB(40分)	
13:30 ~ 14:30 (60min)	Marcelo Sechieri PMO Leader at Banco Toyota do Brasil 「Using Project Management CANVAS™ to collaboratively plan your project portfolio」	A-1 中継	A-2 中継	B-1 中継	C-1 中継	D-1 中継	E-1 中継
14:30 ~ 14:45	休 憩 (15分)						
14:45 ~ 15:45 (60min)	三森ゆりか ㈱つくば言語技術教育研究所 代表取締役社長 「これからの日本に必要な言葉の教育-言語技術」	M-4	A-2 中継	B-2 中継	C-2 中継	D-2 中継	E-2 中継
15:45 ~ 16:00	休 憩 (15分)						
16:00 ~ 17:00 (60min)	岡田勝利 廣瀬製紙株式会社 代表取締役社長 「世界初に拘った製品開発を掲げる中小企業の生き残り戦略」	M-5	A-3 中継	B-3 中継	C-3 中継	D-3 中継	E-3 中継
17:00 ~ 17:15	休 憩 (15分)						
17:15 ~ 18:15 (60min)	浦川伸一 選保ジャパン日本興業株式会社 取締役常務執行役員CIO 「DX「2025年の崖」克服に向けたSOMPOのチャレンジ」	M-6	A-4 中継	B-4 中継	C-4 中継	D-4 中継	E-4 中継
18:15 ~ 18:30	移 動 (15分)						
18:30 ~ 20:30	ネットワーキング (120分)						

7月21日(日)

トラック	【メイントラック】			【併設トラック】			
	招待	PMO/PM一般	事例・手法/PM一般	リスク/OPM/事例・手法	事例手法/PM一般	アカデミック/PM一般	グローバル・PM一般
9:30 ~	受付開始 (9:30 ~)						
10:00 ~ 11:00 (60min)	栗島 聡 NTTコムウェア株式会社 代表取締役社長 「ビジネスポートフォリオ変革へのチャレンジ-Sterからビジネスパートナーへ」	M-7	G-1 基本	H-1 中継	J-1 中継	K-1 基本	L-1 中継
11:00 ~ 11:15	休 憩 (15分)						
11:15 ~ 12:15 (60min)	田島佳奈 株式会社セールスフォース・ドットコム 日本 Ignite Innovation Program 責任者 「ユーザー体験デザインとアジャイルによる変革の実現」	M-8	G-2 中継	H-2 中継	J-2 中継	K-2 中継	L-2 中継
12:15 ~ 13:15	休 憩 (60分)						
13:15 ~ 14:15 (60min)	佐藤法仁 岡山大学 副理事URA 「SDGs達成のための転換: 私たちができることは何か?」	M-9	G-3 中継	H-3 中継	J-3 中継	K-3 基本	L-3 中継
14:15 ~ 14:30	休 憩 (15分)						
14:30 ~ 15:30 (60min)	広瀬 一朗 高松市総務局 参事 「ITスマートシティがもたらした実現を目指して」	M-10	G-4 中継	H-4 中継	J-4 中継	K-4 中継	L-4 中継
15:30 ~ 15:45	休 憩 (15分)						
15:45 ~ 16:45 (60min)	菊島清弘 南山大学 客員教授 「IT開発プロジェクト成功のためのPM力強化」	M-11	G-5 中継	H-5 中継	J-5 中継	K-5 中継	L-5 基本
16:45 ~ 17:00	休 憩 (15分)						
17:00 ~ 18:00 (60min)	油谷実紀 TIS株式会社 エグゼクティブフェロー 「ITを活用した社会課題へのチャレンジ」	M-12	G-6 中継	H-6 中継	J-6 中継	K-6 基本	L-6 基本

□: 上級, □: 中級, □: 基本 (講演者による設定)

# SDGsの 達成を 目指して

昨今、「社会に貢献する」というテーマは市民活動だけでなく、企業活動にも重要なファクトとなってきました。これはプロジェクトマネジメント手法を社会課題の解決にも活用するための研究開発を行っているソーシャルプロジェクトマネジメント研究会による、「SDGs」を「三方良し」の視点から解説するセッションです。

## Organization C-2

### SDGsの達成を目指して①(組織として) CSV(共有価値創造)の実践

7月20日(土) 14:45~15:45

藤井新吾 / 高橋正憲

当講演は① CSV フレームワーク ② CSV 実践プロセス ③ CSV 評価システムについて考えます。

「ソーシャル PM 手法」の活用によって、①CSV 事業の立上げ段階でのリージョン・キャンパスと顧客開発が見える化し、②アーリーアダプターの獲得を経て成長する組織が、システム思考を用いてコレクティブインパクトを仕掛けていく戦略を提案。さらに、③SDGs の企業行動指針である「SDG Compass」に沿って目標設定と評価システムを見極め、SDGs を達成する具体的な進め方を提案します。

## Person C-3

### SDGsの達成を目指して②(個人として) 人生100年時代を豊かにする アジャイルなパラレルキャリア

7月20日(土) 16:00~17:00

稲葉涼太 / 大久保剛

SDGsの目標の一つに『No.8:働きがいも生きがいも(ディーセントワーク)』があります。

そして、人生100年時代と呼ばれる昨今、「パラレルキャリア」に関心が集まりつつあります。パラレルキャリアは『社会良し・個人良し・会社良し』の三方良しの好循環を生み、SDGsの実現にも繋がります。本セッションでアジャイル、ポートフォリオマネジメントなどの考え方の、幸せなパラレルキャリアへの活用を提言します。

## Society C-4

### SDGsの達成を目指して③(社会として) 新たな「絆」の形 ~プロボノで始める社会参加~

7月20日(土) 17:15~18:15

福澤進 / 鬼塚祐代 / 大小田恵子

今、社会人が自分の知識・スキルや経験を活かして行う「プロボノ」という社会貢献活動が注目されています。社会課題の解決に取り組む団体でPMのような実践手法を活用できる人がほとんどいないので、PM経験者のプロボノには大きな意義があるのです。本人の本業や生き方にも良い経験となり、携わる社会人、NPO、そして社会全体の「三方良し」が実現します。本セッションでは、プロボノ活動の実践事例の紹介と、SDGsの達成において果たす役割について講演いたします。